

# 県内発着の旅行回復

## 国内線が大幅増 台湾向けも人気

### 年末年始の予約

沖縄県を発着する年末年始の旅行需要が回復している。県内旅行大手、中央ツーリスト(那覇市)は関東を中心に県外旅行の予約人数が大幅に増加。沖縄発着の国内線予約人数も2ケタ増の路線が多い。日並びが悪く長い休みが取りにくいこともあり、沖縄ツーリスト(同)でも近場のアジアの人気の高い。昨年の新型インフルエンザ流行の反動や節約志向の一服が回復の理由とみられる。



東京ディズニーリゾート関連の商品などが売れている(21日、那覇市の中央ツーリスト)

中央ツーリストの23日～1月5日の県外旅行の予約人数は前年同期に比べ約40%増。東京ディズニーリゾート(千葉県浦安市)や北海道でスキーを楽しむツアーなど旅行目的を絞った商品が好調だ。今年から始めた、12万円以上の旅行商品を購入した顧客に美容用品や宝くじを贈呈するキャンペーンも奏功している。

航空各社の沖縄発着路線の年末年始(23日～1月5日)の予約状況(16日時点)も、全日本空輸は前年同期比23%増、日本航空は15%増、スカイマークは11%増、福岡の羽田線が11%増、福岡線が15%増。スカイマークも羽田線が37%増、神戸線が82%増となるなど好調だ。

中央ツーリストの担当者「節約一辺倒ではなく、価値があると判断した旅行商品にはまとまったお金を出す顧客が増えている」と説明。1人当たりの旅行単価も10%程度上昇しているという。

沖縄ツーリストは29日～1月3日の予約人数全部が前年同期比でほぼ横ばいだが、円高で割安感が出た海外旅行は3%増。近場のアジアが好調で、特に2泊3日で8万8000円からの台湾が人気だとしている。一方、上海万博で旅行者が増えた反動や尖閣諸島の漁船衝突事件などの影響で、中国への旅行は回避する動きがあるという。

11月23日に起きた北朝鮮による韓国・延坪島への砲撃事件の影響が懸念されたが、「一部で韓国への旅行を控える動きもあるものの、買い物目当ての女性客らの伸びが上回っており影響は限定的」とみている。

龍馬伝効果続く 国内旅行は前年並みから1割増。九州旅客鉄道(JR九州)が発表した年末年始の特急の予約状況(9日時点)によると長崎本線が11%増と、ハウステンボス(長崎県佐世保市)のリニューアルや大河ドラマ「龍馬伝」の効果が続いているようだ。

### 九州の年末年始

## 韓国「安・近・短」で人気 割安パックや 女性客ら伸び

九州の年末年始の旅行予約で、韓国行きの人気が高まっている。主要旅行会社によると前年同期比2～3割の伸び。昨年は上海万博で春、夏に多くの人が訪れた反動で同4～7割減少。九州域内

という休暇の短さと割安感が復活した。北朝鮮との砲撃戦の影響もほとんど出ていない。一方、中国旅行が前年同期比約20%増。2泊3日で2万～4万円の割安なパックが売

れている。■砲撃事件も影響小さく 年末年始期間(23日～1月5日)。会社によって集計期間はやや異なる。予約状況を旅行各社に聞き取り調査した。JT B九州は韓国への旅行が前年同期比約20%増。2泊3日で2万～4万円の割安なパックが売

れている。■上海万博の反動 中国は絶不調だ。JT B九州は約60%、近ツは約70%、西鉄が約40%と軒並み大幅減。「春からの上海万博で旅行者が先食いされたことに加え、尖閣諸島の漁船衝突事件も影響している」(近ツ) 欧米は旅行者自体は少ないが、比較的堅調。西

## とんかつ店 ドライブスルー30店に 総菜需要取り込み

リンガーハット

総菜需要取り込み

リンガーハットは、西日本を中心にチェーン展開するとんかつ専門店「とんかつ浜勝」でドライブスルーを導入。今年17日に福岡県新宮町と埼玉



「とんかつ浜勝」の4店舗に設置するドライブスルー

ドライブスルー営業はメニュー板などの設置だけで済むため、投資額は1店あたり200万～300万円にと

同社に移管することにな

る。21日、マルタイの酒見

は売却したい」と述べ

日商保険  
コンサル